

学校経営基本方針『自立貢献』夢をもち 自分で考え 判断し行動する  
基本方針と努力事項『確かな学力』『豊かな心』『たくましい心と体』『コミュニティ・スクール』

	目標	実践内容	具体的な取組	成果と課題	自己評価 4段階	委員評価 4段階
Ⅰ 生徒の実態を踏まえ、一人一人の学力を確実に伸ばす	学習活動の充実	学習規律の確立 統一した学習指導 の徹底	・ アンケート実施と実態に基づく授業改善 ・ 「2・1 チャイムの徹底」(2 分前入室・1分前着席・チャイム黙想) ・ 学力クラスマッチの実施 ・ 学びに向かう集団づくり	○ 2・1チャイムの呼びかけを、係を中心に取り組み、アンケート等からも授業への意欲が高まっている。 ● 学年によっては、授業に落ち着いた雰囲気でき取り組むことが出来ない場面があった。	2.4	2.9
	教師の授業力の向上	校内研究授業の実施 (全員の研究授業)	・ 特別支援教育の視点を活かした指導 ・ 研究授業による日々の授業の改善(授業研究会の充実) ・ 「ひなたの学び」の実現(知識構成型ジグソー法・ICT機器の活用)	○ 全員が研究授業を実施し、ICTを活用した授業や協調学習について実践することができた。 ● 課題設定の特別支援教育及び協働的な学び(協調学習)を更に充実させる必要がある。	3.0	3.3
Ⅱ 思いやりや感動する心をもった生徒を育成する	豊かな体験活動の充実	キャリア教育の推進 学校外活動との連携	・ 主体的に将来を考える場の設定(「子どもたちに伝えたいこと」やよのなか教室、高校出前授業、金融教育など) ・ 「ひなた場」の実施 ・ 生徒が中心となって活動する場の設定(生徒会活動等)	○ 将来の職業や自分の生き方に関する意識を高めることができた。(特に1, 2年生) ● キャリア教育については、キャリアパスポートの有効利用など事前指導や事後の振り返り・気づきを充実させ、次の学年につなげる工夫が必要である。	3.1	3.5
	心の教育の充実	規範意識の確立と自己肯定感の育成	・ 学びに向かう集団づくり ・ 性の多様性を認める講演会と職員研修の実施 ・ 学校生活アンケートへの対応 ・ 教職員間の情報共有 ・ 生徒が中心となって活動する場の設定(生徒会活動等)	○ 協力・思いやりの心や仲間を大切にしようとする心が育っている。 ○ 行事に「参加してよかった」「頑張ってたよかった」という感想が増えた。 ● 学年によっては規範意識が低く、授業を受ける雰囲気を乱す行為が見られる。	3.0	3.3
Ⅲ たくましく生きるための健康や体力を身に付けさせる	健康安全教育の推進	生活リズムの確立 生命・安全を大切にする指導の充実	・ 避難訓練の充実 ・ 部活動生集会の実施 ・ インターネットやSNSに関する情報モラル教室の実施 ・ 「命を想う」講演会や「教育の実施	○ 部活動キャプテン会を実施し、各部の課題を部活動集会で共有した。 ○ 保護者と合同で学校保健委員会を2回実施し、いのちの教育・健康安全教育に取り組んだ。 ● 給食指導の継続指導が必要である。	2.9	3.1
	教育環境の整備	特別支援教育の充実 学校設備の充実	・ 特別支援教育の視点からの授業改善や設備の充実 ・ 通級指導教室の活用 ・ 安全点検の実施と破損箇所等の整備	○ 特別支援教育に関する研修において、具体的な支援の手立てを各学年ごとに検討した。 ● 清掃に取り組む姿勢にバラツキがあり、指導を充実する必要がある。	3.0	3.0
Ⅳ 家庭・地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する	学校開放の促進	家庭・地域との連携	・ PTA活動の充実(学校行事の協力、ミニバレー大会・バザーの実施) ・ フリー参観週間の実施 ・ PTAあいさつ運動の実施 ・ ホームページの充実と学校だよりの発行	○ 駐車場係など学校行事の協力ができ、教職員の負担減につながった。 ○ 学校の取組をホームページや学校だよりに載せ、各家庭に周知した。 ● フリー参観の来校者が少なかった。地域の方に参観していただく機会を増やしたい。	3.0	3.1
	地域連携事業の創出	学校支援ボランティアの積極的な活用 学校運営協議会の充実	・ 延岡はげまし隊との連携及び内容の充実 ・ 学校運営協議会メンバーによる授業参観や学校行事参観 ・ あいさつ運動の実施 ・ 東海地区青少協との協働(研修大会や再発見ワーク等)	○ 学習支援(数学)や見守り活動(水泳、調理実習他)など充実した活動ができた。 ○ 生徒会メンバーが東海地区青少協の活動に参加し、運営にも関わるなど地域貢献できた。	3.0	3.3